

第72回日本東洋医学会学術総会

音声つき発表動画作成マニュアル

- ★注) 作成した動画ファイルは、アップロードサイトのプレビュー画面で、必ずご自身で再生確認を行ってください。
動画データ提出期間中は、何度でも動画の差し替えが可能です。
動画に不具合が発生があった場合、事務局では対応致しかねますのでご了承ください。

目次

最低限必要な機能	P.3
注意事項	P.4
録音時のポイント	P.5
Windows マイクの確認方法	P.6
Windows カメラの確認方法	P.7
Windows PowerPoint2019/Office 365の場合	P.8
Windows PowerPoint2013/2016 の場合	P.13
Windows PowerPoint2010	P.17
Mac PowerPoint for Mac 2019の場合	P.21

最低限必要な機能

1. 音声入力環境

- ・ PC内蔵マイクを使用しての録音も可能ですが、周辺の雑音などが入るなどの影響が考えられます。
- ・ ヘッドセット、マイク付きイヤフォンなど外付けマイクの使用を推奨します。

2. 特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

- Windowsの場合→ PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office 365 のいずれか
- Macの場合→ PowerPoint for Mac 2019, Office 365 のどちらか
 - ※このバージョン以前のバージョンに関して、変換対応は可能ですがMicrosoftのサポート対象外のため、文字ずれなどが発生する恐れがあります。
 - ※4 : 3 16 : 9 等、標準的なサイズ以外は画面に正常に表示されない場合があります。

注意事項

- 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。プレゼンで使用しなかったスライドや、動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- 作成いただいたファイルは一度ご自身でご確認いただき、スライドと音声のタイミングにズレが生じていないことをご確認の上、ご提出ください。
- カメラ機能がついている場合はカメラをOFFにしてください。

録音時のポイント

◆次のスライドに行く前に一呼吸

PowerPointの録音は各スライドごとに別の録音データになります。そのため、話をしながらスライド切り替えをしてしまうと、その時の音声途切れてしまうことがあります。次のスライドに進む際は、一呼吸おき、何も録音しない余白を作るように意識していただくことを推奨いたします。

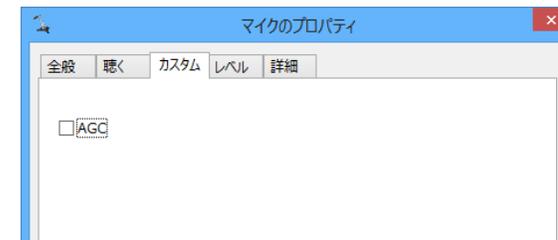


※なるべく一度で録音を終了してください。(修正すると、タイミングポイントに不具合が起こる場合があります)
録音をしておいた場合はタイミングポイントにずれが無いかな必ず確認してください。

◆マイクの設定をご確認ください

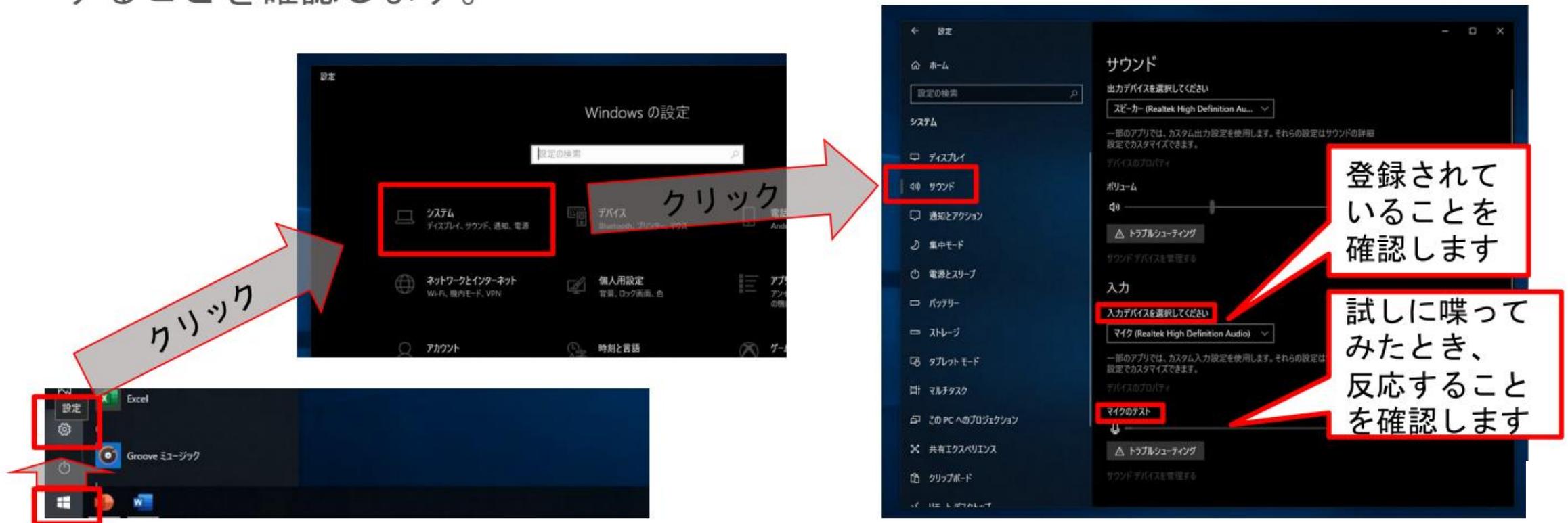
※いきなり全部を録音するのではなく、試しに1枚目だけの録音をしてから実際にご自身で聞いてみていただき、音量・音質をご確認ください。

※音がゆがむ場合・自動的に音量が変わってしまうことがわかった場合は、マイクのプロパティを確認していただき「ノイズ抑制」「音響エコーキャンセル」「AGC (オートゲインコントロール)」「DCオフセット除去」など、音量などを自動修正する機能のチェックを外してみてください。
(※Windowsの場合。マイクによってはこの項目が無い場合もあります)



Windows マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。



Windows カメラの確認方法

「スタート」>「設定」>「プライバシー」>「カメラ」と選択し、カメラへのアクセスがオフになっていることを確認します。

このデバイスのカメラへのアクセスを許可する

アクセスを許可すると、このデバイスを使用するユーザーはこのページの設定を使用して、アプリにカメラへのアクセスを許可するかどうかを選択できます。アクセスを拒否すると、Microsoft Store アプリや、ほとんどのデスクトップ アプリのカメラへのアクセスがブロックされます。Windows Hello はブロックされません。

このデバイスのカメラへのアクセスはオンになっています

変更

アプリがカメラにアクセスできるようにする

アクセスを許可すると、このデバイスを使用するユーザーはこのページの設定を使用して、カメラにアクセスできるようにすることができます。アクセスを拒否すると、ほとんどのデスクトップ アプリのカメラへのアクセスがブロックされます。Windows Hello はブロックされません。

**オフになっていることを確認します
オフになっていない場合は変更を押し、
オフにしてください**

このページの設定をオフにしても、一部のデスクトップ アプリがカメラにアクセスできることがあります。理由を確認する

カメラにアクセスできる Microsoft Store アプリを選ぶ

アプリをオフにすると、アプリがカメラに直接アクセスするのを防ぐことができます。アプリは、Windows のカメラ アプリから間接的にカメラにアクセスすることができます。アプリが Windows のカメラ アプリを使用して間接的にカメラにアクセスすることを防ぐには、次の一覧でカメラ アプリへのアクセスも無効にする必要があります。

Windows PowerPoint2019/Office 365の場合

① [スライドショー]
タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

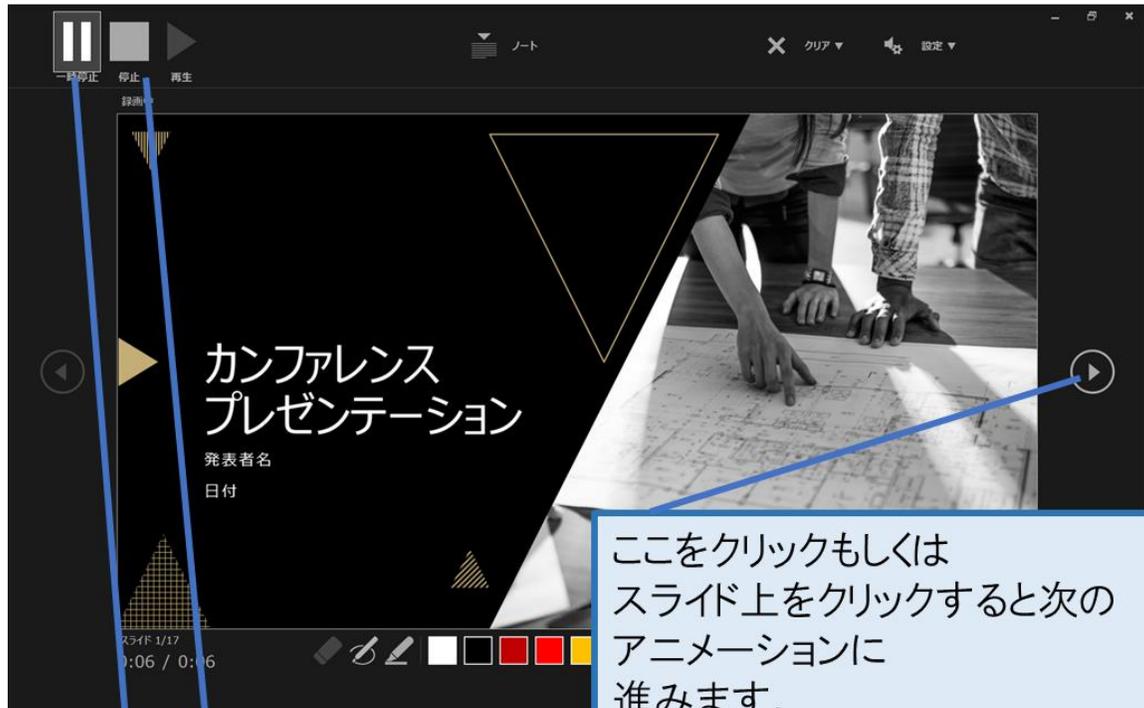


③ [先頭から録音]をクリック

④ [記録の開始]をクリック



⑤ マイクに向かってナレーション録音
スライドも任意のタイミングで進める

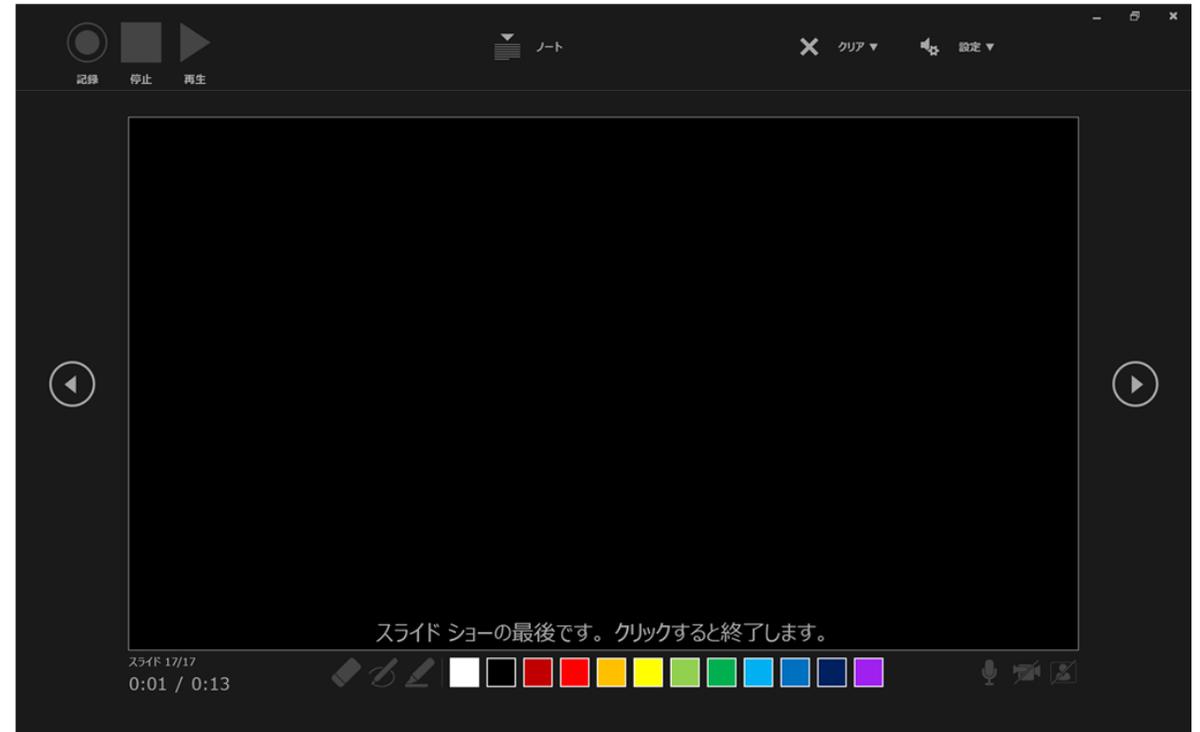


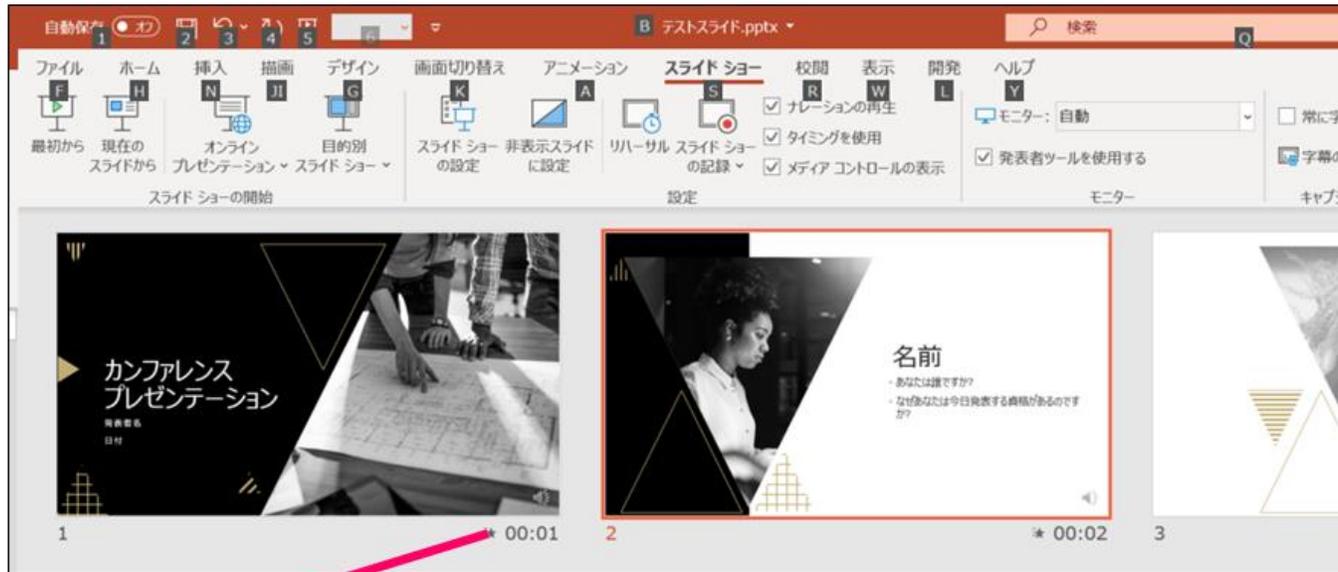
ここをクリックもしくは
スライド上をクリックすると次の
アニメーションに
進みます。

[記録の停止]をクリックすると
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止]をクリック
すると、再生中のアニメーションが止まります

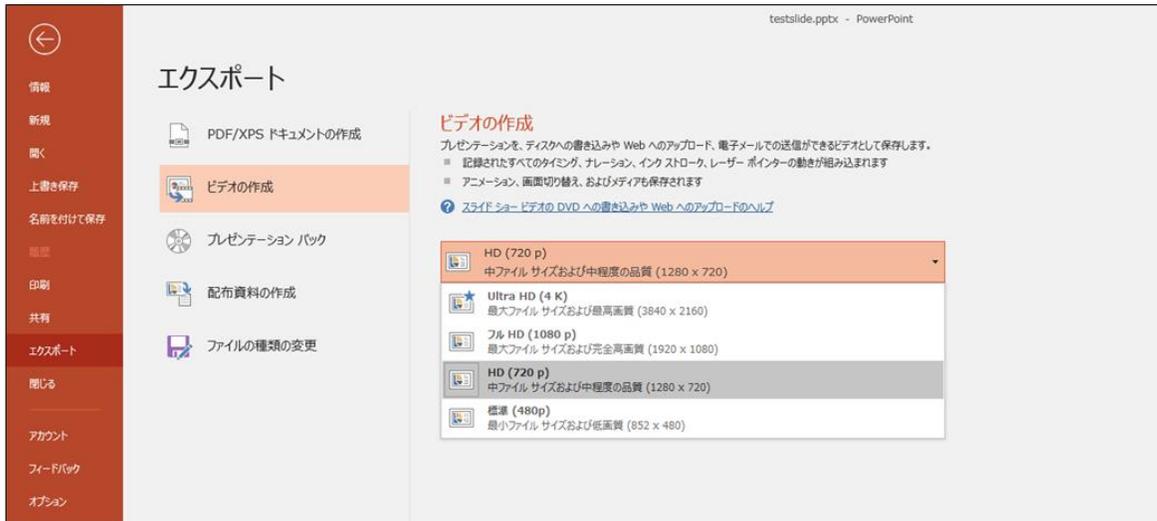
⑥ 下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。
スライドをもう1枚進めると元の画面に戻ります。



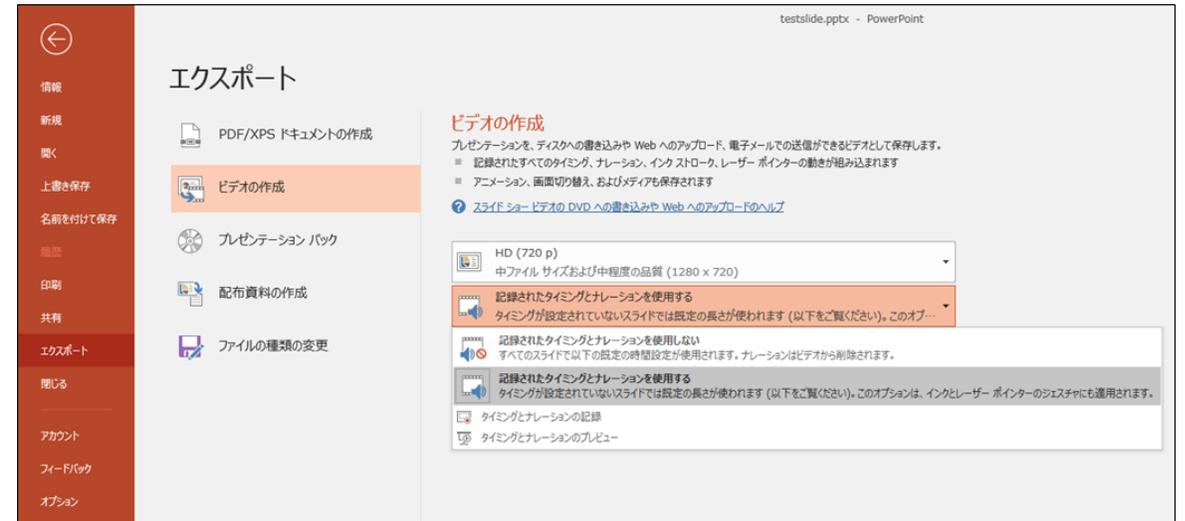


- ⑦ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

8 スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[エクスポート]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MPEG4 (MP4) 形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。**

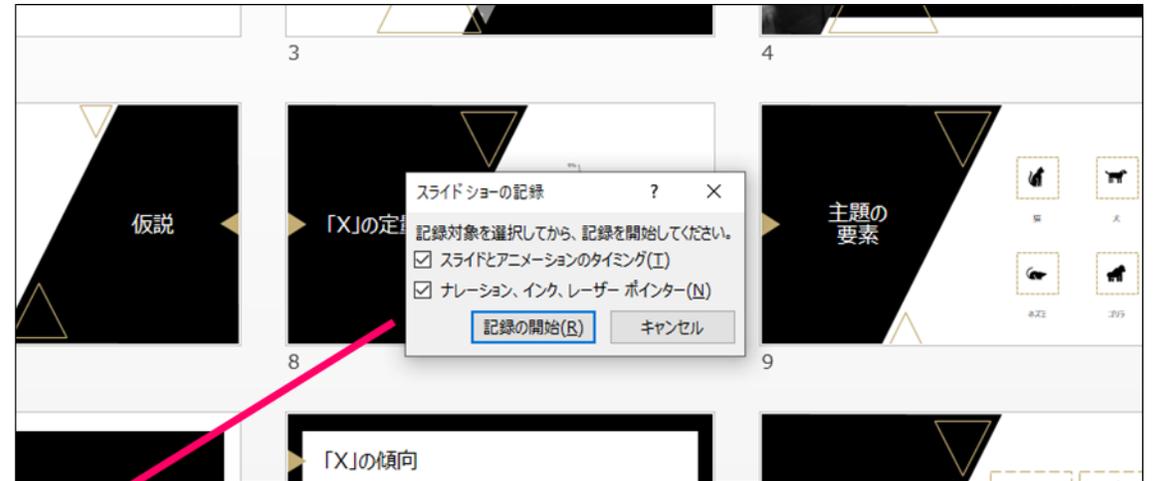
Windows PowerPoint2013/2016の場合

① [スライドショー] タブをクリック

② [スライドショーの記録]をクリック

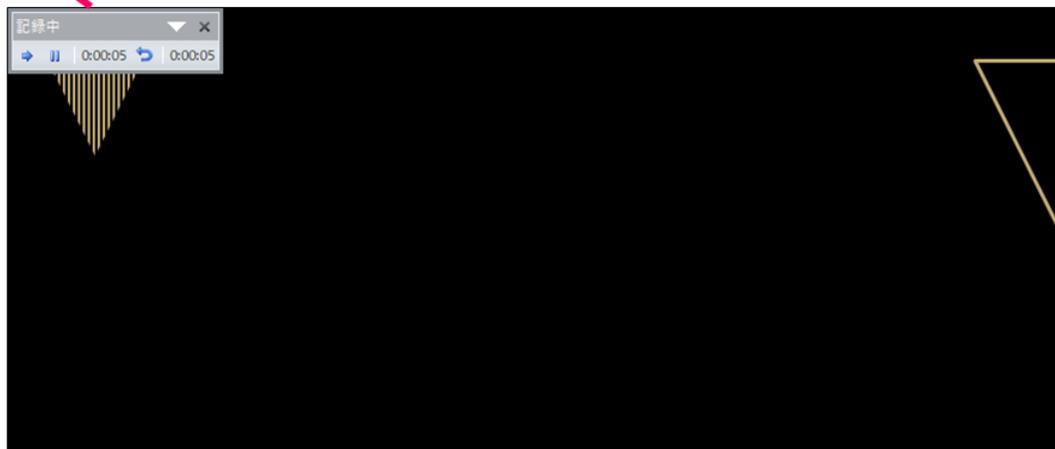


③ [先頭から録音を開始]をクリック



④ [スライドショーとアニメーションのタイミング] [ナレーションとレーザーポインター]のチェックが入っていることを確認して記録の開始

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

8 スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[エクスポート]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MPEG4 (MP4) 形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。**

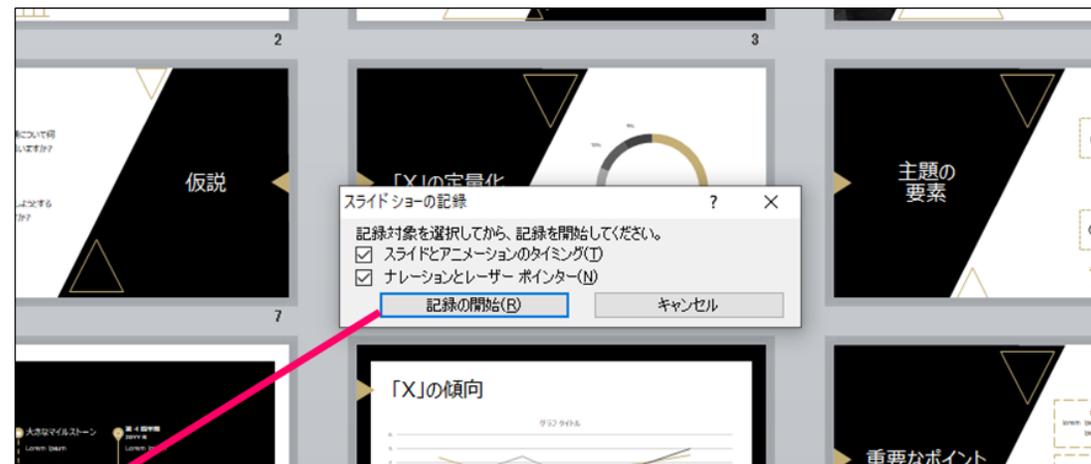
Windows PowerPoint2010の場合

①[スライドショー]
タブをクリック

②[スライドショーの記録]をクリック

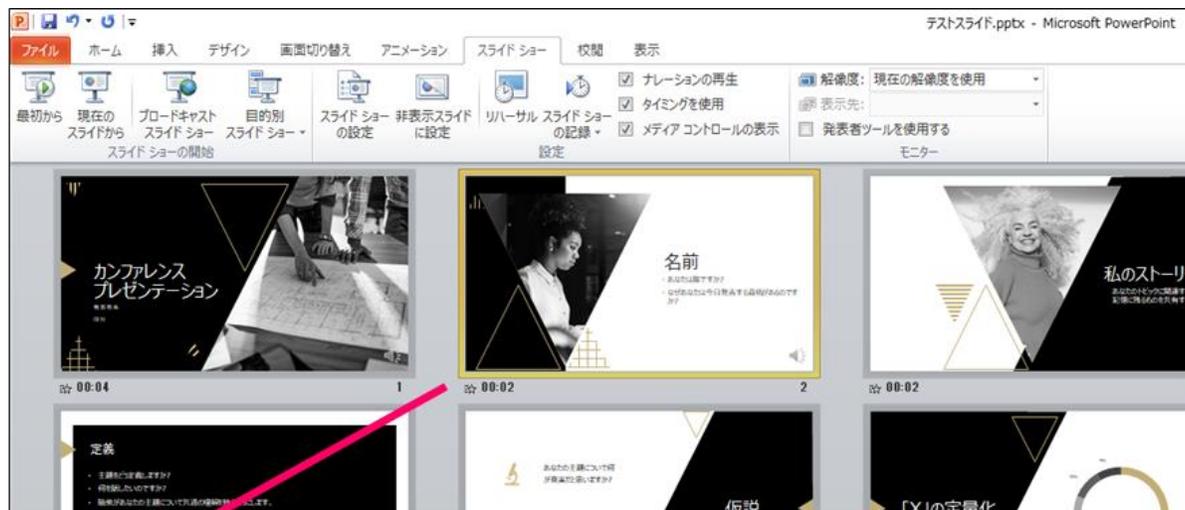
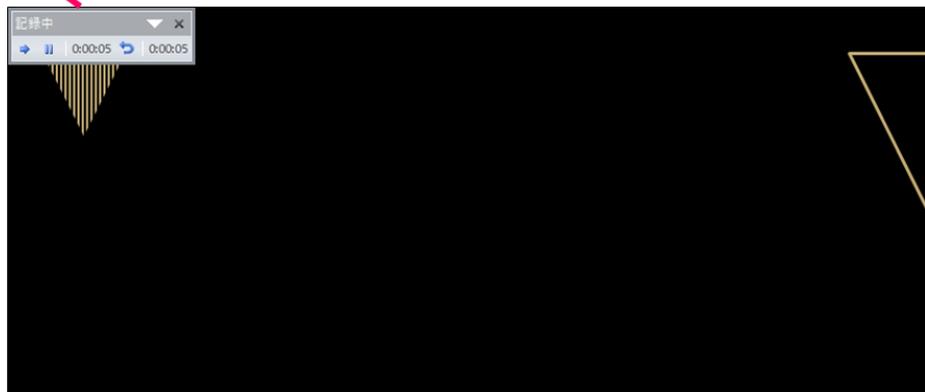


③[先頭から録音を開始]をクリック



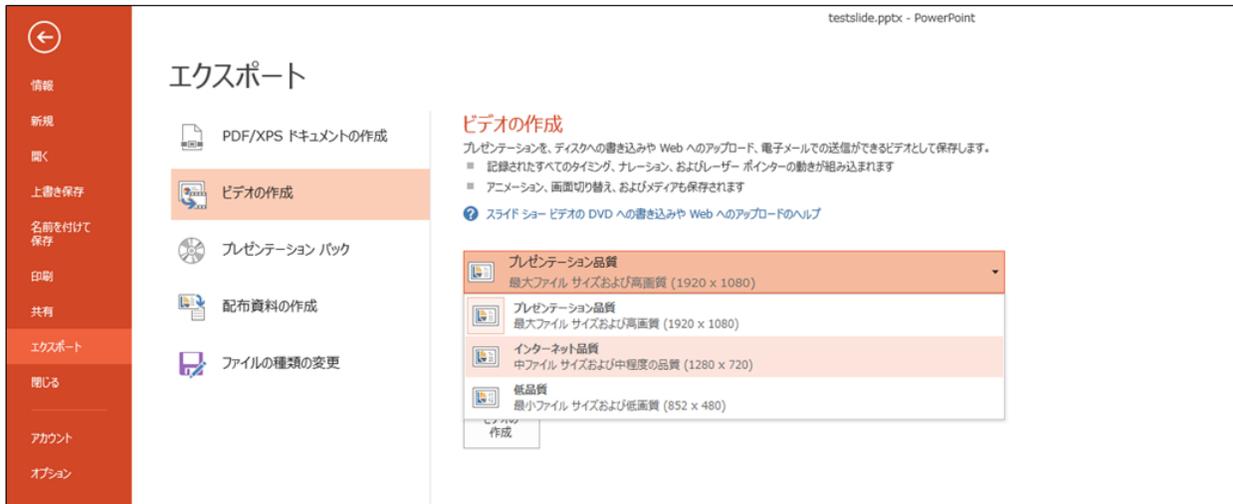
④[スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター]のチェックが
入っていることを確認して記録の開始

⑤ 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認。

⑦ スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
[ファイル]→[保存と送信]→[ビデオの作成]
で書き出します。



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する]を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MPEG4 (MP4) 形式**を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。**20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。**

Mac PowerPoint for Mac 2019の場合

Mac マイクの確認方法

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「プライバシー」>「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。



クリックすると
画面が切り替わり
録画が開始する

1枚目が選択
されている
状態であら
ばOKです。

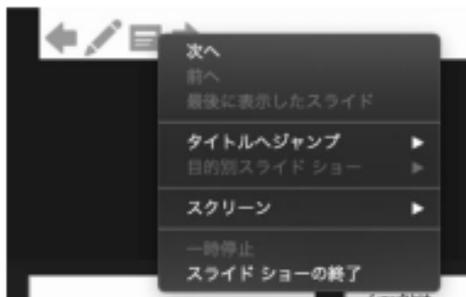
カーソルを合わせたとき、
「先頭から録音を開始」
という注釈が現れること
があります。



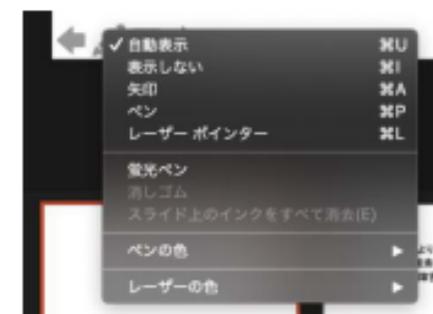
スライドショーの実施

いつも通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、**最終的に動画で記録されるのは、スライド移行のタイミングと音声のみ**です。また、前のスライドに戻ると、戻ったスライド移行の録音を取り消されることに注意してください（**前のスライドに戻るの**は**推奨しません**）。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個前のスライドに戻れます。ただ、戻るの**は**推奨しません。



左下のツールバーからペン、蛍光ペン、ポインターが使えますが、これらについては記録されません。



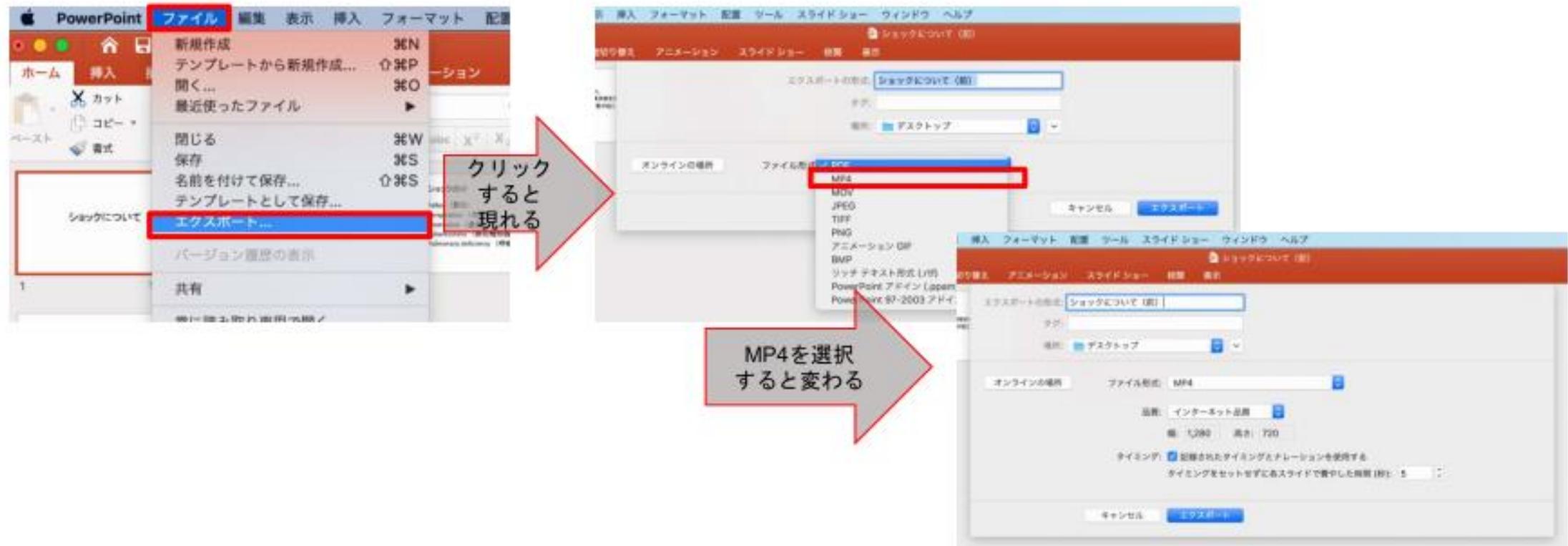
スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



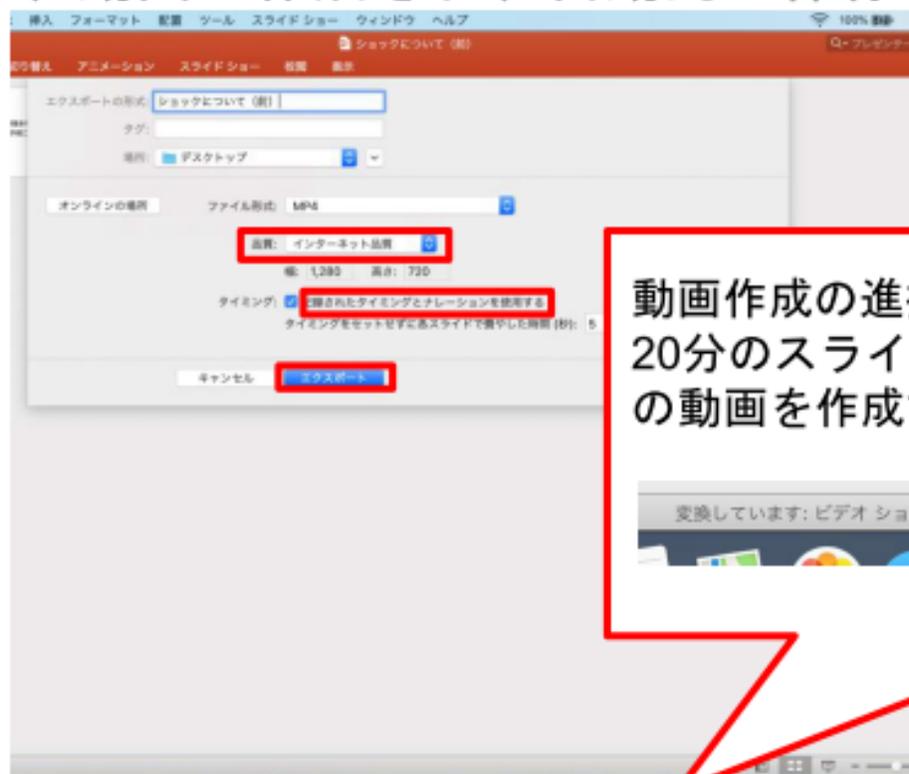
保存先の選択

「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



画質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示されます。
20分のスライドショーから中程度の品質(1280×720)
の動画を作成するのに約10分かかります。